

第5次中期事業計画

令和6年度～令和10年度

長年培ってきた知識と経験を
「活力ある社会」の担い手に



公益社団法人 いなべ市シルバー人材センター

はじめに

会員の皆様には、日頃より当センターの事業運営に多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

また、いなべ市をはじめとする関係機関、民間事業所、地域住民の皆様には当センターに対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターでは「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、楽しく働くことを通じて、健康で生きがいのある生活と地域社会の活性化に貢献しています。しかしながら、当センターを取り巻く状況は厳しさを増しています。新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が数回にわたり発出され、雇い止め等により就業が減少する状態でした。

企業では70歳までの就業機会確保の努力義務により、入会年齢も更に高齢化している現状で、このままではセンターの将来の展望は望めません。また、昨年10月よりインボイス制度が導入され対応していかねばなりません。そこでより前向きな事業運営を図り、発展を目指し第5次中期事業計画を策定しました。この計画のもと、会員、役員、職員が一丸となって、会員増強、就業機会拡大、安全就業、健康管理に取り組み、地域社会に貢献し、愛されるよう着実な事業推進を実践し、会員自らが参画、運営発展させていく自主・自立したセンターの確立に努めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

結びに本計画の策定にあたり、会員皆様のご意見やご提言いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

公益社団法人 いなべ市シルバー人材センター
第5次中期事業計画策定委員会

目次

はじめに

I 第5次中期事業基本計画

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の基本理念
- 3 計画の期間

II 施策

- 1 知力の強化
 - 1) 会員の増強
 - 2) 多様な人材確保
- 2 就業開拓
 - 1) 新規顧客の開拓
 - 2) 適正就業
- 3 安全就業
 - 1) 安全就業
 - 2) 健康管理の充実
- 4 自主運営の構築
- 5 運営組織の充実と強化
- 6 ボランティア活動の充実

III 策定員会名簿



第5次中期事業計画

令和6年度～令和10年度

公益社団法人 いなべ市シルバー人材センター

〒511-0205 三重県いなべ市員弁町笠田新田111

TEL : 0594-84-1800 FAX : 0594-84-1801

I 第5次中期事業基本計画

I 計画策定の趣旨

いなべ市シルバー人材センターは平成16年から5年ごとに事業計画を掲げて事業の推進を行ってきた。この第5次中期事業計画は第4次中期事業計画の終了とその結果をふまえて新たに策定されたものである。

この数年を見ると社会情勢が大きく変わり、企業の定年年齢が引き上げられ、会員の入会年齢も高くなり、シルバーの高齢化率も高くなっている。当センターは公益社団法人として、就業意欲を持つ高齢者に対しそのニーズに応じた就業機会を提供し、いきがいの充実と社会参加をはかるための取り組みを実施していく必要がある。

そのような社会情勢の中で、施策の指針とする第5次中期事業計画を策定するものである。

2 計画の基本理念

「自主・自立、共働・共助」を理念のもと高齢者が働くことを通じ、地域社会に貢献し、自らも楽しむことにより生きがいを得ることを目指す。

3 計画の期間

本計画は令和6年度から令和10年度の5年間を計画期間とする。

ただし、大きな社会情勢の変化や施策・制度変更などがあった場合は計画期間中であっても計画の見直しを行うことができる。

II 施策

I 知力の強化

1) 会員の増強

現状と課題

- ・ 定年年齢の引き上げに伴い入会年齢が高くなっている。
- ・ 退会者数が入会者数を上回っている。
- ・ 女性会員は全体の 27%と少ない。

実行施策

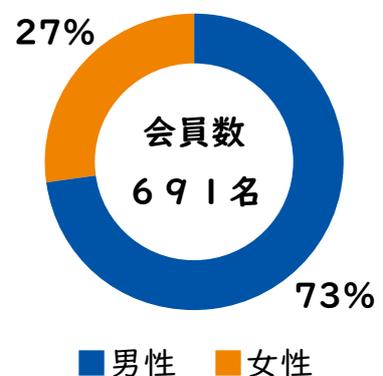
- ・ 多様な就業先の開拓。
- ・ 独自事業の取り組みによる就業機会の創出。
- ・ 女性の就業先の開拓。
- ・ 趣味を生かした入会推進。
- ・ 女性対象の入会説明会を開催する。
- ・ 一人一会員紹介運動の継続。



入会・退会者数の推移

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
入会者数	83	73	72	87
退会者数	88	85	90	83
会員数	717	705	687	691
平均年齢	72.7	73	73	73.2

人数



2) 多様な人材確保

現状と課題

- ・ 人員が足りず、就業依頼に対応できない状況である。

実行施策

- ・ 広報活動の強化。
- ・ 多様な就業機会に対応できる人材の確保と育成。



2 就業開拓

1) 新規顧客の開拓

現状と課題

- ・ 現在就業先の対応は業務担当に任せているが、新規開拓まで手が回らない。

実行施策

- ・ 就業開拓班を継続し、各企業を訪問することにより新たな就業機会の創出を図る。
- ・ 女性会員の就業先の開拓。



2) 適正就業

現状と課題

- ・ 除草・剪定・伐採は適時の作業であり会員不足が生じている。
- ・ お客様の依頼に応えるため、一部の会員に負担がかかっている
- ・ 企業からの要望に対しても同様である。

実行施策

- ・ 除草作業については、機械を導入して誰でも使用できるようにし、作業に慣れるようにしていく。（刈払機は熟練必要）
- ・ 剪定作業は付随作業に新人を配置し、順次教育していく。
- ・ 就業中の方からも呼びかけてもらい、人員を確保する。



安全+第一

3 安全就業 1) 安全就業

現状と課題

- ・各種会議、安全パトロール等で安全就業を指導しているが、傷害事故、賠償事故が発生している。
- ・企業の雇用延長により、シルバーの入会年齢の高齢化が進み、事故発生リスクが高くなっている。



実行施策

- ・作業別安全・適正就業標準にもとづいてパトロールの実施。
- ・「安全運転5則」、「かもしれない運転」の実行で交通事故防止を図る。
- ・事故が発生した場合、安全適正委員が事故分析を行い、事故防止対策を行う。

事故件数（傷害・賠償事故）年度別件数推移

	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
傷害	4	7	5	3
賠償	2	9	6	15
その他	5	3	4	2
計	11	19	15	20
賠償金額(円)	18,547	888,777	497,200	2,148,776

安全運転 5 則

1. 安全速度を必ず守る
2. カーブの手前ではスピードを落とす
3. 交差点では必ず安全を確認める
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守る
5. 飲酒運転は絶対にしない



2) 健康管理の充実

人生 100 年時代を迎え健康寿命を延ばすことは誰もが望むことであり、会員各自が自分の健康状態を知ることが健康管理の第一歩。

- ・フレイル予防の 3 つの柱「食（栄養）」「運動」「社会参加」を促す企画に取り組む。
- ・健康診断等の推進（受診の把握）



フレイル対策 3 つの柱

‘フレイル’とは

病気ではないが、年齢とともに筋肉や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことである。



社会参加

運 動



食(栄養)



4 自主運営の構築

- ・シルバーは全員で運営していくことが原則であり方針、問題点を共有し会員の意見を反映できる体制の確立。
- ・地域代表会、地区懇談会の開催。
- ・就業班単位の全体会の充実。

5 運営組織の充実と強化

現状と課題

- ・令和5年度からインボイス制度が導入され、消費税納付額の増加が見込まれ、先行き不透明である。
- ・請負契約の中に派遣契約にすべき案件がある。



実行施策

- ・組織力、職群班の強化。
- ・独自事業の設立。
- ・事務局体制の強化・効率化。
- ・財政基盤の確立。
- ・インボイス制度施行に伴う将来の経費増加に備え、積立金の増額が必要であり、事務比率の見直しや事務効率の改善に取り組む。
- ・請負契約の見直しと共に派遣事業の推進を行う。



契約金額の推移

単位：千円

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
請負	339,853	351,097	354,180	364,926
派遣	160,209	145,671	138,146	141,744
合計金額	500,062	496,768	492,326	506,670

6 ボランティア活動の充実

現状と課題

- ・ ボランティア活動は一部の人の活動とされているため参加者が少ない。
- ・ 地域に密着していない活動となっている。

実行施策

- ・ 会員の社会貢献。
- ・ 地域との交流の実施。
- ・ 会員が楽しく参加できる行事の計画。
(シルバー祭り、各種イベント等)



Ⅲ 策定委員名簿

1	理事長	三好成之	委員長
2	常務理事	児玉達雄	副委員長
3	理事	岩城正文	委員
4	会員（広報部員）	水谷史子	委員
5	会員（就業開拓）	寺村昇幸	委員
6	会員（員弁）	日紫喜正良	委員
7	会員（大安）	葛巻美一	委員
8	会員（藤原）	近藤勝敏	委員
9	会員（北勢）	水本一見	委員
10	事務局長	市川充	書記
11	事務局	伊藤佳代	委員
12	業務担当	二之夕秀明	委員